



▲町内全世帯に配布するマスクの封入作業

今年は桜の季節を楽しむ春ではありませんでしたが、いつのまにか新緑が美しい季節になりました。4月、5月は例年なら多くの人々が新たなスタートを切り、新たな出会いを楽しみにする季節ですが、今年は学校も含めて、少し先送りになってしまいました。一日も早く人々の生活が元に戻ることを願うばかりです。

◆現在進めている町単独の対策事業のいくつかをご紹介します。◎児童扶養手当受給者(ひとり親家庭)に対し、3万円を支給します。◎町内全戸にマスクを7枚ずつ配布します。それぞれのご家庭の人数構成も様々で、十分に在庫をお持ちの家庭もあると思いますが、手持ちに不安を抱えている方も多くいらっしゃるから、不要な方は必要とされる方にお譲りいただければ幸いです。◎小中学校の授業再開後、全児童生徒の給食費を3カ月無料にします。◎売上の減少した中小事業者に対し、10万円を給付します。◎中小事業者の事業継続のため、専門家による相談窓口設置費用を商工会に補助します。◎コロナウイルスの影響で、就職の内定を取り消された人や、職を失った人を対象に9名の任期付き職員を採用します。◎各家庭、企業の上水道基本料金を6カ月間無料にします。

◆町のホームページではコロナ対策のコーナーと併せて、「町長からのメッセージ」というコーナーを設けています。日々の状況と支援事業について、リアルタイムでお知らせしてまいりますので、併せてご覧いただければと思います。職員も国、県の給付事業と町単独事業のできるだけ早い実施に向けて、フル稼働しておりますが、人口規模、システム改修などの関係から、時間がかかってしまう場合もございます。それぞれに大変な状況であることは承知しておりますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

播磨町長 清水ひろ子

トピックス まちのわだい

大中遺跡公園(播磨大中国古代の村)、再整備中です

県立考古博物館学習支援室 ☎079(437)5564

大中遺跡公園(播磨大中国古代の村)は、弥生時代後期のムラを再現している体験型屋外展示ミュージアムです。昭和47年の開園から長い年月を経て、大きく育った園内の木々や低木により見通しが悪くなっていましたが、現在県が再整備を進めています。(同公園は県が管理しています)

実際の住居跡が発見された位置に復元住居を再現し、弥生時代の人々が集落をつくっていた古代のムラの景色を一目で見ることが出来る展示施設を目指しています。



▲4月29日撮影の大中遺跡公園

楽屋裏
今月も、広報はりまは多くの自治会役員の皆さまのお力添えをいただき、各家庭にお届けしています。3密にならないように気を遣いながらの大変な作業に感謝します。ありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症に関する情報は日々更新されています。広報紙では、時間も内容を差し替えるのが難しく、情報をお届けするよう編集しています。最新の情報が知りたい場合は、町ホームページをご覧いただき、お問い合わせください。(宮)

わんぱくはりまっこ



2歳 4歳 0カ月
やまもと 山本 芽依ちゃん・和玖くん
りこちゃん (西野添)

3兄妹仲良く、元気に大きくなってね!

※撮影時の年齢です。(父・母より)

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために

危機管理グループ ☎079(435)0991

町ホームページでは、随時新型コロナウイルス感染症に関する情報を更新しています。広報紙では、編集期間において更新されたホームページの情報を抜粋して掲載しています。最新の情報は町ホームページでご確認をお願いします。

●播磨町での取り組み状況

4月7日 緊急事態宣言発令

新型インフルエンザ等特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が発令されました。翌8日、清水町長からメッセージが発信されました。内容については、町ホームページのほか、広報はりま4月号に掲載しています。

4月8日 幼稚園、小・中学校の休園・休校

5月6日まで、町内の幼稚園、小・中学校を休園・休校。その後、5月31日まで延長しました。

4月8日 訓練の実施

町内の公共施設で新型コロナウイルス感染症の感染が発生した場合を想定した訓練を実施しました。町職員が防護服の着脱や、消毒液噴霧器の取り扱いについて確認を行いました。



4月15日他 施設などへマスクを提供

町内の介護保険サービス事業所、障がい福祉施設、保育園、学童保育所に対し、町で備蓄しているマスクを合わせて約1万枚を配布しました。

4月24日以降、母子健康手帳の交付時に妊婦に対してマスクを配布しています。

また、町が新たに購入したマスク10万枚を5月11日から町内全戸に配布しました。



4月16日 窓口に仕切り板を設置

窓口カウンターにアクリル製などの仕切り板を設置し、仕切り板越しでの対応を開始。



4月19日 町内で感染症患者を確認

町長メッセージを発信。「国・県・町の正確な情報の把握に努め、いわれなき風評被害や憶測やデマに惑わされないよう冷静な対応と行動をお願いいたします。」

4月20日 職員の出勤数を削減

役場内での感染症拡大を防止するため、窓口を含むすべての業務に携わる職員について、在宅ワーク(一部は別室に設置したサテライトオフィスで勤務)などを取り入れて出勤する人数を減らしました。当初5月6日までの予定でしたが、緊急事態宣言の延長に伴い、5月30日まで実施期間を延長。



4月25日 公園の駐車場を閉鎖

大中遺跡公園、野添であい公園、石ヶ池パークセンターの3カ所の駐車場を閉鎖。公園に多くの人が集まることを避ける呼びかけを実施。(公園については、閉鎖はせず、今後の状況で判断することとした)

5月1日 町内施設の閉館期間を延長

当初5月6日までとしていた閉館の期間を、5月31日まで延長することとした。

●特別給付金の対応

5月8~22日 特別定額給付金早期特別申請の郵送受付

5月13日 オンライン申請の受付開始

●その他播磨町の対策

- ・ひとり親家庭(児童扶養手当受給世帯)に対して3万円を支給
- ・町内全戸にマスクを7枚ずつ配布
- ・売上の減少した中小事業者に対し10万円を給付
- ・小中学校の授業再開後、全児童生徒の給食費を3カ月間無料に
- ・中小事業者の事業継続のため、専門家による相談窓口設置費用を商工会に補助
- ・コロナウイルスによる影響で、内定を取り消された人や、職を失った人を対象に9名の任期付き職員を雇用
- ・上水道基本料金を6カ月無料

ほか

5月11日現在の情報を掲載しました。最新の情報は随時ホームページでお知らせします。

